

人権擁護委員に 小野里光男氏、稲垣英世氏が再委嘱

境町では、現在5名の方が人権擁護委員として法務大臣から委嘱をされています。そのうち2名の委員が任期満了を迎えましたが、引き続き人権擁護委員として委嘱され、橋本町長から委嘱状が手渡されました。

人権擁護委員は、地域の皆さんからの人権に関する相談を受け、問題解決のお手伝いをしたり、法務局の職員と協力して人権侵害による被害者の救済をしたり、地域の皆さんが人権について関心を持ってもらえるような啓発活動を行っています。人権問題でお悩みの方は、お気軽にご相談ください。

【境町人権擁護委員（敬称略）】

- ・倉持 薫（境地区）
- ・中村 好（森戸地区）
- ・田中 次郎（長田地区）
- ・小野里光男（静地区）
- ・稲垣 英世（猿島地区）



▲写真左から橋本町長、稲垣さん、小野里さん

名称変え再スタート 「境町いきいきクラブ連合会」発足！！

社会福祉会館において、境町老人クラブ連合会が「境町いきいきクラブ連合会」の新名称へ変わり、発足式が行われました。昨年開催された、いきいき福祉大会で名称変更が発表され、今回の発足式で新たな一歩を踏み出すことになりました。

各地域の老人クラブの会員数は年々減少していましたが、いきいき福祉大会開催の効果により各老人クラブが活性化しており、会員数も増加しています。

今後は、さらに活動内容を充実させ、誰もが健康で元気に暮らせるような仕組みづくりを進めていきます。



▲発足式に参加した皆さん

日頃の成果を発表！！ 第23回生涯学習フェスティバル作品展

3月18日（土）から25日（土）の期間中、ふれあいの里において、各種講座や自主グループ、文化協会の皆さんが1年間の学習成果を発表する「生涯学習フェスティバル作品展」が開催されました。会場には、書道や生花、着付、絵手紙、竹工画、写真、盆栽、短歌、陶芸、籐手芸、パッチワーク、アートフラワー、古文書教室の作品などが展示され、期間中、会場は多くの来場者で賑わいました。



▲展示された短歌を眺める来場者



▲パッチワークの展示



▲着付の展示

一般社団法人境青年会議所 平成28年度茨城県国際化推進奨励賞を授賞

2月7日（火）、茨城県庁において、国際化推進活動に功績のあった個人・団体を対象に、茨城県国際化推進奨励賞授賞式が行われ、団体の部において、一般社団法人境青年会議所が授賞されました。

3月8日には、境青年会議所の皆さんが役場を表敬訪問し、橋本町長へ報告が行われました。

境青年会議所では、平成26年度より青少年育成事業の一環として、地域の青少年を対象として国際感覚・国際理解を養うことを目的に上海（中国）研修事業を実施しています。今後の一般社団法人境青年会議所の皆さんの更なるご活躍を期待しています。



▲表敬訪問に訪れた境青年会議所の皆さん



▲挨拶をする高橋大希実行委員長



▲災害時にも活用できるエアポート



▲はしご車体験



▲トラクター遊覧ではみんな満面の笑みで菜の花を満喫

ふるさと納税感謝祭 「第15回菜の花フェスティバル」を開催

4月8日（土）、利根川河川敷の境河岸付近において、菜の花フェスティバル実行委員会（高橋大希実行委員長）の主催により、今年で第15回となる「菜の花フェスティバル」が開催されました。

当日は雨がちらつくあいにくの天気でしたが、特設ステージでは日本舞踊やエアロビクス、フラダンス、境高校による吹奏楽演奏などが披露されました。

また、会場では、ジャンボガラガラ抽選会や自治体として初めて境町が導入したエアポートの試乗体験、セグウェイ体験、はしご車の搭乗体験、さかい4Hクラブによるトラクター遊覧などが行われました。

さらに、圏央道茨城県内全線開通記念イベントとして境町商工会青年部による圏央井グランプリが開催されたほか、毎年恒例となった軽トラ市など、多くの催しが行われ、菜の花でいっぱいの会場は例年以上の来場者で賑わいました。



▲多くの来場者で賑わった会場の様子



▲何が出るかな？どきどきのガラガラ抽選会



▲はしご車の上から見た風景



▲様々な丼が並んだ圏央井グランプリ



▲圏央井グランプリ優勝はヨシムラミート（つくば市）の「常陸牛焼肉ブラック丼」